



電話システム連動の管理

電話システム、ポートグループ、ポート、電話システム トランク、サーバを追加および削除することによって、電話システム連動を管理できます。また、既存の電話システム、ポートグループ、ポート、電話システム トランク、サーバの設定を変更することもできます。

次の各項を参照してください。

- [電話システムの管理 \(P.29-2\)](#)
- [ポートグループの管理 \(P.29-10\)](#)
- [ポートの管理 \(P.29-22\)](#)
- [電話システム トランクの管理 \(P.29-26\)](#)
- [セキュリティ \(Cisco Unified Communications Manager 連動のみ\) \(P.29-28\)](#)

電話システムの管理

Cisco Unity Connection の管理の電話システムのページには、Cisco Unity Connection と連動している電話システムが示されています。Connection の管理では、電話システムは 1 つ以上のポートグループを保持しています。ポートグループは、ボイスメッセージポートを保持しています。電話システムを管理することで、システムでのニーズの変化に対応できます。

次の各項を参照してください。

- [新しい電話システム連動の追加 \(P.29-2\)](#)
- [電話システム連動の削除 \(P.29-3\)](#)
- [電話システムの設定の変更 \(P.29-3\)](#)
- [電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示 \(P.29-4\)](#)
- [MWI のオン / オフ用に同じポートを使用する設定の無効化 \(P.29-4\)](#)
- [電話システムの MWI の同期化 \(P.29-5\)](#)
- [Phone View の設定値の設定 \(Cisco Unified Communications Manager 連動のみ\) \(P.29-5\)](#)
- [通話ループ検出設定の変更 \(P.29-5\)](#)
- [AXL サーバの管理 \(P.29-6\)](#)

新しい電話システム連動の追加

複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させることができます。サポートされる組み合わせの一覧については、『*Multiple Integration Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。このドキュメントは、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。



(注)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、新しい電話システム連動の追加をサポートしていません。

新しい電話システム連動を追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[**テレフォニー統合 (Telephony Integrations)**] を展開し、[**電話システム (Phone System)**] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページの [電話システムの検索結果 (Phone System Search Results)] で、[**新規追加 (Add New)**] をクリックします。[電話システムの新規作成 (New Phone System)] ページが表示されます。
- ステップ 3** [電話システムの新規作成 (New Phone System)] ページの [電話システムの名前 (Phone System Name)] フィールドに、電話システムの識別に役立つ名前を入力し、[**保存 (Save)**] をクリックします。
- ステップ 4** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。

電話システム連動の削除

電話システムが Cisco Unity Connection で使用されなくなった場合は、その電話システムを削除できません。電話システムを削除する前に、削除する電話システムに関連付けられている次のオブジェクトをすべて削除するか、別の電話システムに割り当て直す必要があります。

- すべてのユーザ (MWI デバイスおよび通知デバイスを含む)
- すべてのユーザ テンプレート
- すべてのシステム コール ハンドラ
- すべてのコール ハンドラ テンプレート



(注)

電話システムに関連付けられているユーザ全員のリストを、[電話システムの関連付け (Phone System Associations)] ページで確認できます。手順については、P.29-4 の「電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、電話システム連動の削除をサポートしていません。

電話システム連動を削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページの [電話システムの検索結果 (Phone System Search Results)] で、削除する電話システムの名前の隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 電話システムを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。

電話システムの設定の変更

電話システムを Cisco Unity Connection と連動させた後に、電話システムの設定を変更することができます。電話システムの設定では、Connection と連動させる電話システムを指定し、特定の電話システム機能を調整します (連動のコンフィギュレーション設定は、電話システムに属しているポート グループに保持されます)。

電話システムの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、設定を変更する電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。

電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示

電話システムに関連付けられている、すべての Cisco Unity Connection ユーザのリストを表示することができます。

電話システムに関連付けられているユーザのリストを表示する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [電話システムの関連付け (Phone System Associations)] をクリックします。
 - ステップ 4** [電話システムの関連付け (Phone System Associations)] ページに、電話システムに関連付けられているユーザのリストが表示されます。
-

MWI のオン/オフ用に同じポートを使用する設定の無効化

MWI のオン/オフ用に同じボイス メッセージ ポートを使用するように電話システム連動を作成した場合 ([MWI の有効化と無効化に同じポートを使用する (Use Same Port for Enabling and Disabling MWIs)] フィールドをオンにした場合)、この設定を無効にして、ユーザへのボイス メッセージが存在しないときに MWI をオンのままにしないようにするには、次の手順を実行します。

MWI のオン/オフ用に同じポートを使用する設定を無効にする

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[この電話システムに対してすべての MWI をオフにする (Force All MWIs Off for This Phone System)] チェックボックスをオンにし、[保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 4** [MWI の有効化と無効化に同じポートを使用する (Use Same Port for Enabling and Disabling MWIs)] チェックボックスと [この電話システムに対してすべての MWI をオフにする (Force All MWIs Off for This Phone System)] チェックボックスをオフにし、[保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 5** [この電話システムのすべての MWI を同期化する (Synchronize All MWIs on This Phone System)] の前にある [実行 (Run)] をクリックします。
-

電話システムの MWI の同期化

他の電話システムの MWI に影響を及ぼすことなく、電話システムのすべての Message Waiting Indicator (MWI; メッセージ受信インジケータ) を同期化することができます。

電話システムの MWI を同期化する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[この電話システムのすべての MWI を同期化する (Synchronize All MWIs on This Phone System)] の前にある [実行 (Run)] をクリックします。
-

Phone View の設定値の設定 (Cisco Unified Communications Manager 連動のみ)

Cisco Unified CM 連動の場合、Phone View を使用すると、ユーザが [メッセージの検索 (Find Message)] メニューや [メッセージの表示 (Display Message)] メニューを使用したときに、検索結果を Cisco IP Phone の LCD 画面に表示できます。Phone View を使用するには、Cisco Unified CM も設定されている必要があります。詳細については、「[Phone View の設定](#)」の章を参照してください。

Phone View の設定値を設定する (Cisco Unified Communications Manager 連動のみ)

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
 - ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページの [Phone View の設定 (Phone View Settings)] で、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

通話ループ検出設定の変更

ユーザにメッセージの到着を通知するなどの目的で Cisco Unity Connection が転送した通話が、Connection に転送し直されることがあります。通話ループ検出を有効にすると、Connection は通話ループの発生を検出し、その通話を拒否します。

通話ループ検出設定を変更すると、確認される通話をタイプごとに有効または無効にし、Connection が使用する [fourth-column DTMF トーン] のいずれかを設定し、ガード時間を設定することができます。

通話ループ検出設定は、Connection が転送する通話への影響が不明な場合は変更しないでください。

通話ループ検出設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページの [DTMF を使用したコールループの検出 (Call Loop Detection by Using DTMF)] で、必要な設定を入力して[保存 (Save)] をクリックします。
-

AXL サーバの管理

AXL サーバは、Cisco Unified Communications Manager 電話システムでのみサポートされ、Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM データベースにアクセスするために必要なものです。データベースにアクセスするのは、Cisco Unified CM ユーザをインポートする場合、および特定の電話システム設定を Connection パーソナル着信転送ルールのユーザ用に変更する場合です。

AXL サーバは、Cisco Unified Communications Manager Express 連動ではサポートされません。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、AXL サーバの追加をサポートしていません。

次の各手順を参照してください。

- [AXL サーバを追加する \(P.29-6\)](#)
- [AXL サーバを削除する \(P.29-9\)](#)
- [AXL サーバの設定を変更する \(P.29-9\)](#)

AXL サーバを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [AXL サーバの編集 (Edit AXL Servers)] ページの [AXL サーバ (AXL Servers)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 5** AXL サーバについて次の設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。

表 29-1 [AXL サーバ (AXL Servers)] の設定

フィールド	設定
[順序 (Order)]	AXL サーバの優先順位を入力します。最も小さい数字はプライマリ AXL サーバで、それより大きい数字はセカンダリ サーバです。
[IP アドレス (IP Address)]	AXL サーバの IP アドレスを入力します。
[ポート (Port)]	Connection が接続する AXL サーバ ポートを入力します。この設定は、AXL サーバが使用するポートと一致する必要があります。 Cisco Unified Communications Manager バージョン 4.1(x) の場合、通常のポート番号は 443 です。 Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.x 以降の場合、通常のポート番号は 8443 です。

ステップ 6 追加する残りすべての AXL サーバについて、[ステップ 4](#)と[ステップ 5](#)を繰り返します。

ステップ 7 [AXL サーバの設定 (AXL Server Settings)]で、次の設定を入力して[**保存 (Save)**]をクリックします。

表 29-2 [AXL サーバの設定 (AXL Server Settings)] の設定



フィールド	設定
[ユーザ名 (User Name)]	Connection が AXL サーバへのログオンで使用するユーザ名を入力します。  (注) このユーザは、"Standard AXL API Access" ロールに割り当てられている Cisco Unified CM アプリケーション ユーザのユーザ名と一致する必要があります。
[パスワード (Password)]	Connection が AXL サーバへのログオンで使用するユーザのパスワードを入力します。  (注) このパスワードは、[ユーザ名 (User Name)] フィールドに入力した Cisco Unified CM アプリケーション ユーザのパスワードと一致する必要があります。

表 29-2 [AXL サーバの設定 (AXL Server Settings)] の設定 (続き)

フィールド	設定
[Cisco Unified Communications Manager のバージョン (Cisco Unified Communications Manager Version)]	<p>Cisco Unified CM のバージョンを、次のリストから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [5.0 より前 (SSL 以外) (Pre 5.0 (Non-SSL))] [5.0 より前 (SSL) (Pre 5.0 (SSL))] [5.0 以降 (SSL) (5.0 or Greater (SSL))] <p>[5.0 より前 (SSL 以外) (Pre 5.0 (Non-SSL))] バージョンを選択した場合は、AXL ポートを非 SSL ポート (通常はポート 80) とする必要があります。</p> <p>[5.0 より前 (SSL) (Pre 5.0 (SSL))] バージョンを選択した場合は、AXL ポートを SSL 対応ポート (5.0 より前のバージョンの場合、通常はポート 443) とする必要があります。</p> <p>[5.0 以降 (SSL) (5.0 or Greater (SSL))] バージョンを選択した場合は、AXL ポートを SSL 対応ポート (通常はポート 8443) とする必要があります。</p>

**注意**

このページの変更内容を保存した後、AXL サーバのポート番号の隣にある [テスト (Test)] をクリックすると、AXL サーバへの接続を確認できます。管理者の入力する AXL ポートと [Cisco Unified Communications Manager のバージョン (Cisco Unified Communications Manager Version)] 設定で、SSL が使用されるかどうかに関して一致していない場合、テストの結果が表示されるまでに 10 分以上かかります。

- ステップ 8** 対応するアプリケーション サーバを Cisco Unified CM に追加するために、Cisco Unified CM の管理ページにログオンします。
- ステップ 9** Cisco Unified CM の管理ページで、[システム (System)] > [アプリケーションサーバ (Application Server)] ページに移動します。
- ステップ 10** [アプリケーションサーバの検索と一覧表示 (Find and List Application Servers)] ページで、[検索 (Find)] をクリックして、すべてのアプリケーションサーバを表示します。
- ステップ 11** [名前 (Name)] カラムで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックします。
- ステップ 12** [アプリケーションサーバの設定 (Application Server Configuration)] ページの [使用可能なアプリケーションユーザ (Available Application Users)] フィールドで、[ステップ 7](#) で使用した Cisco Unified CM アプリケーション ユーザを選択し、[下向き矢印](#)をクリックして [選択されたアプリケーションユーザ (Selected Application Users)] フィールドに移動します。
- ステップ 13** [保存 (Save)] をクリックします。

AXL サーバを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [AXL サーバの編集 (Edit AXL Servers)] ページの [AXL サーバ (AXL Servers)] で、削除する AXL サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 6** AXL サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

AXL サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unified CM 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [AXL サーバの編集 (Edit AXL Servers)] ページで、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

ポートグループの管理

ポートグループは、連動のほとんどのコンフィギュレーション設定、および Cisco Unity Connection の一部またはすべてのボイスメッセージポートを保持しています。

ほとんどの電話システム連動では 1 つのポートグループしか必要ありませんが、次の状況では複数のポートグループが必要になる場合があります。

- PIMG/TIMG 装置を使用した電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置を、適切なボイスメッセージポートを持つそれぞれ別のポートグループに接続する必要があります。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。
- 他の電話システムとの連動では、新しい設定のテスト用、またはトラブルシューティング用に、固有のボイスメッセージポートを持つ追加のポートグループを使用できます。

Connection のポートグループを利用すると、複数の連動コンフィギュレーション設定を用意して、それぞれ別のポートグループに適用できる柔軟性がもたらされます。

次の各項を参照してください。

- [ポートグループの追加 \(P.29-10\)](#)
- [ポートグループの削除 \(P.29-11\)](#)
- [ポートグループの設定の変更 \(P.29-11\)](#)
- [Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式の変更 \(P.29-12\)](#)
- [MWI の設定の変更 \(P.29-13\)](#)
- [セカンダリ Cisco Unified Communications Manager サーバの追加 \(P.29-13\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager サーバの削除 \(P.29-14\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager サーバの設定の変更 \(P.29-15\)](#)
- [TFTP サーバの追加 \(P.29-15\)](#)
- [TFTP サーバの削除 \(P.29-16\)](#)
- [TFTP サーバの設定の変更 \(P.29-16\)](#)
- [SIP サーバの追加 \(P.29-17\)](#)
- [SIP サーバの削除 \(P.29-18\)](#)
- [SIP サーバの設定の変更 \(P.29-18\)](#)
- [PIMG/TIMG 装置の管理 \(P.29-19\)](#)
- [Session Initiation Protocol \(SIP\) の設定の変更 \(P.29-20\)](#)
- [ポートグループの詳細設定の変更 \(P.29-21\)](#)
- [自動ゲイン制御 \(AGC\) の設定の変更 \(P.29-21\)](#)

ポートグループの追加

複数のポートグループを追加することで、それぞれに固有の連動コンフィギュレーション設定と専用のボイスメッセージポートを定義できます。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) のみ : ポートグループを追加するには、ポートグループに属していない既存のボイスメッセージポートが Cisco Unified CM の管理機能に存在している必要があります。

その他の構成 : PIMG/TIMG 装置を使用した電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置にポートグループが 1 つずつ必要です。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。

ポートグループを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの新規作成 (New Port Group)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

ポートグループの削除

ポートグループを削除すると、そのポートグループに属しているボイスメッセージポートもすべて削除されますが、ポートグループが属している電話システムは削除されません。

ポートグループを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、削除するポートグループの名前の隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
 - ステップ 4** ポートグループを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

ポートグループの設定の変更

ポートグループを追加した後に、ポートグループの設定を変更することができます。設定に対する変更が適用されるのは、そのポートグループに属しているボイスメッセージポートのみです。

ポートグループの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式の変更

Cisco Unity Connection は、電話システムとのメディアストリームで優先的に使用する、通話のオーディオ形式（コーデック）をアドバタイズします。オーディオ形式を設定するときは、次の点を考慮する必要があります。

- Connection では、電話システムが使用しているものと同じオーディオ形式をメディアストリームに使用する必要があります。その理由は次のとおりです。
 - － メディアストリームを、あるオーディオ形式から別の形式に変換する必要が生じるのを避けるため。
 - － Connection サーバおよび電話システムのパフォーマンスに及ぼす影響を最小限に抑えるため。
 - － 通話の音質を維持するため。
- 電話システムが使用しているものとは別のオーディオ形式を Connection がアドバタイズすると、電話システムはメディアストリームを変換します。

Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、メディアストリームのオーディオ形式を変更する電話システム連動に属している最初のポートグループをクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [コーデックのアドバタイズ (Codec Advertising)] をクリックします。
- ステップ 4** [コーデックのアドバタイズの編集 (Edit Codec Advertising)] ページで、上向き矢印および下向き矢印をクリックし、コーデックの順序を変更するか、[アドバタイズされているコーデック (Advertised Codecs)] ボックスと [アドバタイズされていないコーデック (Unadvertised Codecs)] ボックスの間でコーデックを移動します。
- [アドバタイズされているコーデック (Advertised Codecs)] ボックスにコーデックが 1 つしか存在しない場合、Cisco Unity Connection はそのオーディオ形式でメディアストリームを送信します。電話システムがこのオーディオ形式を使用していない場合、電話システムはメディアストリームを変換します。
- [アドバタイズされているコーデック (Advertised Codecs)] ボックスに複数のコーデックが存在する場合、Connection はリストの最初のコーデックを優先使用することをアドバタイズしますが、電話システムが選択した、リスト内のオーディオ形式でメディアストリームを送信します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** (SCCP を除くすべての連動) アドバタイズされているコーデックで使用するパケットのサイズを変更する場合は、[ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページにある [アドバタイズされているコーデックの設定 (Advertised Codec Settings)] で、各コーデックに対して必要なパケット設定をクリックし、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** [次へ (Next)] をクリックします。

- ステップ 8** メディア ストリームのオーディオ形式を変更する電話システム連動に属している残りすべてのポートグループについて、[ステップ 3](#)～[ステップ 7](#)を繰り返します。

MWI の設定の変更

メッセージ受信インジケータ (MWI) について、Cisco Unity Connection がユーザの MWI を設定するかどうか、および MWI 要求の再試行をどのように処理するかを制御します。

MWI の設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[\[テレフォニー統合 \(Telephony Integrations\)\]](#) を展開し、[\[ポートグループ \(Port Group\)\]](#) をクリックします。
- ステップ 2** [\[ポートグループの検索 \(Search Port Groups\)\]](#) ページで、MWI の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [\[ポートグループの基本設定 \(Port Group Basics\)\]](#) ページの [\[メッセージ受信インジケータの設定 \(Message Waiting Indicator Settings\)\]](#) で、必要な設定を変更して [\[保存 \(Save\)\]](#) をクリックします。

セカンダリ Cisco Unified Communications Manager サーバの追加

Cisco Unified Communications Manager 連動の場合、1 台の Cisco Unified CM サーバのみとの連動を作成するときは[\[関連リンク \(Related Links\)\]](#)が役立ちます。クラスタ内のセカンダリ Cisco Unified CM サーバは、連動を作成した後に追加する必要があります。



- (注)** Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、セカンダリ Cisco Unified CM サーバをサポートしていません。

セカンダリ Cisco Unified Communications Manager サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[\[テレフォニー統合 \(Telephony Integrations\)\]](#) を展開し、[\[ポートグループ \(Port Group\)\]](#) をクリックします。
- ステップ 2** [\[ポートグループの検索 \(Search Port Groups\)\]](#) ページで、セカンダリ Cisco Unified CM サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [\[ポートグループの基本設定 \(Port Group Basics\)\]](#) ページで、[\[編集 \(Edit\)\]](#) メニューの [\[サーバ \(Servers\)\]](#) をクリックします。
- ステップ 4** [\[サーバの編集 \(Edit Servers\)\]](#) ページの [\[Cisco Unified Communications Manager サーバ \(Cisco Unified Communications Manager Servers\)\]](#) で、[\[追加 \(Add\)\]](#) をクリックします。
- ステップ 5** セカンダリ Cisco Unified CM サーバの設定を入力し、[\[保存 \(Save\)\]](#) をクリックします。

- ステップ 6** 追加する残りすべてのセカンダリ Cisco Unified CM サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。



(注) **[PING (Ping)]** をクリックすると、Cisco Unified CM サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

Cisco Unified Communications Manager サーバの削除

Cisco Unified Communications Manager サーバが電話システム連動で使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

Cisco Unified CM サーバを別のポートグループに移動する場合は、その Cisco Unified CM サーバを 1 つのポートグループから削除して、2 番目のポートグループに追加する必要があります。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、Cisco Unified CM サーバの削除をサポートしていません。

Cisco Unified Communications Manager サーバを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポートグループ (Port Group)]** をクリックします。
- ステップ 2** **[ポートグループの検索 (Search Port Groups)]** ページで、Cisco Unified CM サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** **[ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)]** ページで、**[編集 (Edit)]** メニューの **[サーバ (Servers)]** をクリックします。
- ステップ 4** **[サーバの編集 (Edit Servers)]** ページの **[Cisco Unified Communications Manager サーバ (Cisco Unified Communications Manager Servers)]** で、削除する Cisco Unified CM サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** **[選択項目の削除 (Delete Selected)]** をクリックします。
- ステップ 6** Cisco Unified CM サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、**[OK]** をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager サーバの設定の変更

Cisco Unified CM サーバを追加した後に、サーバの設定を変更することができます。

Cisco Unified Communications Manager サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、Cisco Unified CM サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
 - ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [Cisco Unified Communications Manager サーバ (Cisco Unified Communications Manager Servers)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-



- (注) [PING (Ping)] をクリックすると、Cisco Unified CM サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。
-

TFTP サーバの追加

Cisco Unified Communications Manager 連動では、Cisco Unified CM クラスタで Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

システムで Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合は、Cisco Unified CM 電話システム連動を作成した後に、TFTP サーバを追加する必要があります。

TFTP サーバを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、TFTP サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
 - ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [TFTP サーバ (TFTP Servers)] で、[追加 (Add)] をクリックします。
 - ステップ 5** TFTP サーバの設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 6** 追加する残りすべての TFTP サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。
-



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、TFTP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

TFTP サーバの削除

TFTP サーバがポート グループで使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

Cisco Unified Communications Manager 連動では、Cisco Unified CM クラスタで Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

TFTP サーバを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート グループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポート グループの検索 (Search Port Groups)] ページで、TFTP サーバを削除するポート グループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポート グループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
 - ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [TFTP サーバ (TFTP Servers)] で、削除する TFTP サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
 - ステップ 6** TFTP サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

TFTP サーバの設定の変更

TFTP サーバを追加した後に、サーバの設定を変更することができます。

Cisco Unified Communications Manager 連動では、Cisco Unified CM クラスタで Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

TFTP サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート グループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポート グループの検索 (Search Port Groups)] ページで、TFTP サーバの設定を変更するポート グループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポート グループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。

- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [TFTP サーバ (TFTP Servers)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、TFTP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

SIP サーバの追加

SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager との電話システム連動、または別の SIP サーバとの電話システム連動では、電話システムを作成した後に別の SIP サーバを追加できません。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、SIP サーバをサポートしていません。

SIP サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
- ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [SIP サーバ (SIP Servers)] で、[追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 5** SIP サーバの設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべての SIP サーバについて、[ステップ 4](#) と [ステップ 5](#) を繰り返します。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、SIP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

SIP サーバの削除

SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager との電話システム連動、または別の SIP サーバとの電話システム連動では、ポート グループで SIP サーバが使用されなくなった場合、その SIP サーバを削除できます。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、SIP サーバをサポートしていません。

SIP サーバを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。
 - ステップ 4** [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [SIP サーバ (SIP Servers)] で、削除する SIP サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
 - ステップ 6** SIP サーバを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

SIP サーバの設定の変更

SIP トランクを使用した Cisco Unified Communications Manager との電話システム連動、または別の SIP サーバとの電話システム連動では、SIP サーバを追加した後に SIP サーバの設定を変更できます。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、SIP サーバをサポートしていません。

SIP サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。

ステップ 3 [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [サーバ (Servers)] をクリックします。

ステップ 4 [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [SIP サーバ (SIP Servers)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。



(注) [PING (Ping)] をクリックすると、SIP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を確認できます。

PIMG/TIMG 装置の管理

PIMG/TIMG を使用した電話システムとの連動では、各 PIMG/TIMG 装置をそれぞれ別のポートグループに配置します。たとえば、PIMG 装置を 5 台使用するシステムの場合は、PIMG 装置ごとに 1 つずつ、5 つのポートグループが必要です。電話システム連動を作成した後に、PIMG/TIMG 装置を追加、変更、または削除できます。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、PIMG/TIMG 装置を使用した連動をサポートしていません。

次の各手順を参照してください。

- [PIMG/TIMG 装置を追加する \(P.29-19\)](#)
- [PIMG/TIMG 装置を削除する \(P.29-20\)](#)
- [PIMG/TIMG の設定を変更する \(P.29-20\)](#)

PIMG/TIMG 装置を追加する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。

ステップ 2 [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

ステップ 3 [ポートグループの新規作成 (New Port Group)] ページの [電話システム (Phone System)] フィールドで、PIMG/TIMG 装置を追加する電話システムをクリックします。

ステップ 4 必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。

PIMG/TIMG 装置を削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページの [ポートグループの検索結果 (Port Group Search Results)] で、削除する PIMG/TIMG 装置のポートグループの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
-

PIMG/TIMG の設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、PIMG/TIMG の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [PIMG の設定 (PIMG Settings)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

Session Initiation Protocol (SIP) の設定の変更

Session Initiation Protocol (SIP) を使用する連動では、電話システム連動を作成した後に SIP の設定を変更できます。



- (注)** Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、SIP を使用する連動をサポートしていません。
-

Session Initiation Protocol (SIP) の設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、SIP の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [セッション開始プロトコル (SIP) の設定 (Session Initiation Protocol (SIP) Settings)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

ポートグループの詳細設定の変更

ポートグループの詳細設定では、使用頻度の低い設定（遅延やMWIの使用方法などの設定）を制御します。ポートグループの詳細設定は、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。

ポートグループの詳細設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、詳細設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [詳細設定 (Advanced Settings)] をクリックします。
 - ステップ 4** [詳細設定の編集 (Edit Advanced Settings)] ページの [ポートグループの詳細設定 (Port Group Advanced Settings)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

自動ゲイン制御 (AGC) の設定の変更

自動ゲイン制御 (AGC) の設定では、メッセージ録音時の値の自動調整を制御します。AGC の設定は、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。

AGC の設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポートグループ (Port Group)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、詳細設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [ポートグループの基本設定 (Port Group Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの [詳細設定 (Advanced Settings)] をクリックします。
 - ステップ 4** [詳細設定の編集 (Edit Advanced Settings)] ページの [自動ゲインコントロール (AGC) の設定 (Automatic Gain Control (AGC) Settings)] で、必要な設定を変更して [保存 (Save)] をクリックします。
-

ポートの管理

ボイス メッセージ ポートを利用すると、Cisco Unity Connection で通話を（メッセージ録音などのために）着信したり、Connection で通話を（通知メッセージの送信や MWI の設定などのために）発信したりすることができます。

各ボイス メッセージ ポートは、1 つのポート グループにのみ所属できます。ポート グループが複数ある場合、各グループはそれぞれ固有のボイス メッセージ ポートを保持します。すべてのポート グループに属しているボイス メッセージ ポートの合計数は、Connection ライセンス ファイルで有効とされているボイス メッセージ ポートの最大数を超えることはできません。

次の各項を参照してください。

- [ポートの追加 \(P.29-22\)](#)
- [ポートの削除 \(P.29-23\)](#)
- [ポートの設定の変更 \(P.29-23\)](#)
- [ポート証明書の表示 \(P.29-25\)](#)

ポートの追加

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。ボイス メッセージ ポートは、電話システムを作成した後に追加できます。ボイス メッセージ ポートを追加したことによって、すべてのポート グループのボイス メッセージ ポートの合計数が、Connection ライセンス ファイルで有効とされているボイス メッセージ ポートの最大数を超えることがないようにする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) のみ : ポートを追加するには、ポート グループに属していない既存のボイス メッセージ ポートが Cisco Unified CM の管理機能に存在している必要があります。

新しいポートを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート (Port)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートの検索 (Search Ports)] ページの [ポートの検索結果 (Port Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [ポートの新規作成 (New Port)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。



注意

通話への応答用に設定したポートと発信用に設定したポートの数が適切であることを確認します。ポートの数が適切でない場合、連動が正常に機能しない可能性があります。適切な Cisco Unity Connection インテグレーション ガイドの「Cisco Unity Connection でのボイス メッセージ ポートの使用方法の計画」の項を参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

- ステップ 4** Cisco Unity Connection の管理の [関連リンク (Related Links)] リストで、[テレフォニーの設定の確認 (Check Telephony Configuration)] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックして電話システム連動の設定を確認します。

- ステップ 5** テストが正常に終了しなかった場合は、トラブルシューティングの手順を示したメッセージが [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] リストに 1 つ以上表示されます。問題を解決した後に、もう一度設定を確認してください。

ポートの削除

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。

ポートを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート (Port)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートの検索 (Search Ports)] ページの [ポートの検索結果 (Port Search Results)] で、削除するボイス メッセージ ポートの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じて、ポート グループに含まれている残りのボイス メッセージ ポートの設定を変更します。通話への応答用のポートと発信用のポートを、それぞれ適切な数に設定します。

ポートの設定の変更

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。ボイス メッセージ ポートの設定は、電話システム連動を作成した後に変更できます。

ポートの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[ポート (Port)] をクリックします。
- ステップ 2** [ポートの検索 (Search Ports)] ページで、設定を変更するボイス メッセージ ポートの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページで、必要な設定を入力して[保存 (Save)] をクリックします。

電話システム連動の種類に応じて、表 29-3 の一部またはすべてのフィールドが表示されます。

表 29-3 [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページの設定

フィールド	説明
[有効にする (Enabled)]	このチェックボックスをオンにすると、ポートが有効になります。通常の操作ではポートを有効にします。 このチェックボックスをオフにすると、ポートが無効になります。ポートが無効になると、そのポートに対する通話は、呼び出し音を受けますが、応答されることはありません。一般的には、インストール担当者がテスト中に限りポートを無効にします。
[サーバ名 (Server Name)] (PIMG/TIMG 連動では使用不可)	(Cisco Unity Connection 冗長のみ) このポートを処理する Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックします。 同数の応答用ボイス メッセージ ポートとダイヤルアウト ボイス メッセージ ポートを Connection に割り当てて、それらがボイス メッセージ トラフィックを均等に共有するようにします。
[内線番号 (Extension)] (PIMG/TIMG 連動のみで使用可能)	電話システムで割り当てられているように、ポートに対する内線番号を入力します。
[コールに回答する (Answer Calls)]	通話に回答するようにポートを指定するには、このチェックボックスをオンにします。これらの通話は、外部発信者またはユーザからの着信です。
[メッセージ通知を実行する (Perform Message Notification)]	ポートをユーザに対するメッセージ通知用に指定するには、このチェックボックスをオンにします。[メッセージ通知を実行する (Perform Message Notification)] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[MWI 要求を送信する (Send MWI Requests)] (シリアル連動では使用されない)	ポートを MWI のオン/オフ用に指定するには、このチェックボックスをオンにします。[MWI 要求を送信する (Send MWI Requests)] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。 シリアル連動では、このチェックボックスをオフにします。ポートの数が適切でない場合、連動が正常に機能しない可能性があります。
[TRAP 接続を許可する (Allow TRAP Connections)]	このチェックボックスをオンにすると、ユーザは Cisco Unity Connection の Web アプリケーションで電話から録音または再生用のポートを使用することができます。[TRAP 接続を許可する (Allow TRAP Connections)] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[発信ハント順 (Outgoing Hunt Order)] (SIP 連動では使用不可)	Cisco Unity Connection が発信時に使用するポート ([メッセージ通知を実行する (Perform Message Notification)], [MWI 要求を送信する (Send MWI Requests)], および [TRAP 接続を許可する (Allow TRAP Connections)] の各チェックボックスをオンにした場合など) の優先順位を入力します。値の最も大きいポートが最初に使用されます。ただし、複数のポートが同じ [発信ハント順 (Outgoing Hunt Order)] 値になっている場合、Connection は最も長時間アイドル状態になっているポートを使用します。

表 29-3 [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページの設定 (続き)

フィールド	説明
[セキュリティ モード (Security Mode)] (Cisco Unified CM SCCP 連動のみで使用可能)	<p>該当するセキュリティ モードをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [非セキュア (Non-secure)]: コールシグナリング メッセージがクリア (暗号化されていない) テキストとして送信され、認証された TLS ポートではなく非認証ポートを使用して Cisco Unified Communications Manager に接続されるため、コールシグナリング メッセージの完全性とプライバシーは保証されません。また、メディア ストリームも暗号化されません。 • [認証 (Authenticated)]: コールシグナリング メッセージは認証された TLS ポートを使用して Cisco Unified CM に接続されるため、完全性が保証されます。ただし、クリア (暗号化されていない) テキストで送信されるため、コールシグナリング メッセージのプライバシーは保証されません。また、メディア ストリームも暗号化されません。 • [暗号化 (Encrypted)]: コールシグナリング メッセージは認証された TLS ポートを使用して Cisco Unified CM に接続され、暗号化されるため、このポートでの完全性とプライバシーが保証されます。また、メディア ストリームも暗号化されます。

ステップ 4 設定を変更するボイス メッセージ ポートがこれ以上ない場合は、**ステップ 6** に進みます。まだある場合は、**[次へ (Next)]** をクリックします。

ステップ 5 設定を変更する残りすべてのボイス メッセージ ポートについて、**ステップ 3** と **ステップ 4** を繰り返します。

ステップ 6 [ポート (Port)] メニューの **[ポートの検索 (Search Ports)]** をクリックします。

ステップ 7 [ポートの検索 (Search Ports)] ページで、通話への応答用に設定したボイス メッセージ ポートと発信用に設定したボイス メッセージ ポートの数が適切であることを確認します。必要に応じて、通話への応答用に設定したボイス メッセージ ポートと発信用に設定したボイス メッセージ ポートの数を調整します。

ポート証明書を表示

ボイス メッセージ ポートのポート証明書は、Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) 4.1 以降との SCCP 連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。ポート証明書を表示すると、認証と暗号化に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

ポート証明書を表示する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポート (Port)]** をクリックします。

ステップ 2 [ポートの検索 (Search Ports)] ページで、デバイス証明書を表示するボイス メッセージ ポートの表示名をクリックします。

ステップ 3 [ポートの基本設定 (Port Basics)] ページで、**[証明書の表示 (View Certificate)]** をクリックします。

- ステップ 4** [ポート証明書の表示 (View Port Certificate)] ウィンドウに、ポートのデバイス証明書に含まれている情報が表示されます。

電話システム トランクの管理

複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させる場合は、電話システム トランクを設定すると、ある電話システム上の通話を他の電話システム上の内線に転送できるようになります。電話システム トランクにアクセスするには、追加ダイヤル番号 (たとえば 9) をダイヤルした後に内線番号をダイヤルします。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、電話システム トランクをサポートしていません。

次の各項を参照してください。

- [電話システム トランクの追加 \(P.29-26\)](#)
- [電話システム トランクの削除 \(P.29-27\)](#)
- [電話システム トランクの設定の変更 \(P.29-27\)](#)

電話システム トランクの追加

別の電話システム連動が存在する場合は、電話システム トランクを追加すると、ある電話システム上の通話から、他方の電話システム上の内線にアクセスできるようになります。電話システム トランクは、電話システム連動を作成した後に追加できます。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、電話システム トランクをサポートしていません。

電話システム トランクを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[トランク (Trunk)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムのトランクの検索 (Search Phone System Trunks)] ページの [電話システムのトランクの検索結果 (Phone System Trunk Search Results)] で、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [電話システム トランクの新規作成 (New Phone System Trunk)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。

電話システム トランクの削除

電話システム トランクが電話システム連動で使用されなくなった場合は、その電話システム トランクを削除できます。



(注)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、電話システム トランクをサポートしていません。

電話システム トランクを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[トランク (Trunk)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムのトランクの検索 (Search Phone System Trunks)] ページの [電話システムのトランクの検索結果 (Phone System Trunk Search Results)] で、削除する電話システム トランクの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 電話システム トランクを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。

電話システム トランクの設定の変更

電話システム トランクの設定は変更できません。ただし、変更の必要な電話システム トランクを削除し、必要な設定を入力して電話システム トランクを新しく追加することができます。



(注)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) は、電話システム トランクをサポートしていません。

電話システム トランクの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[トランク (Trunk)] をクリックします。
- ステップ 2** [電話システムのトランクの検索 (Search Phone System Trunks)] ページで、削除する電話システム トランクの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 電話システム トランクを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
- ステップ 5** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 6** [電話システム トランクの新規作成 (New Phone System Trunk)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。

セキュリティ (Cisco Unified Communications Manager 連動のみ)

Cisco Unified CM の認証と暗号化が Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートに対して設定されている場合は、証明書とセキュリティ プロファイルを管理できます。

次の各項を参照してください。

- [Cisco Unity Connection ルート証明書の表示 \(Cisco Unified Communications Manager SCCP 連動のみ\) \(P.29-28\)](#)
- [Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存 \(Cisco Unified Communications Manager SCCP 連動のみ\) \(P.29-28\)](#)
- [SIP 証明書の追加 \(Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ\) \(P.29-29\)](#)
- [SIP 証明書の削除 \(Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ\) \(P.29-30\)](#)
- [SIP 証明書の変更 \(Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ\) \(P.29-30\)](#)
- [SIP セキュリティ プロファイルの追加 \(Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ\) \(P.29-30\)](#)
- [SIP セキュリティ プロファイルの削除 \(Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ\) \(P.29-31\)](#)
- [SIP セキュリティ プロファイルの変更 \(Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ\) \(P.29-31\)](#)

Cisco Unity Connection ルート証明書の表示 (Cisco Unified Communications Manager SCCP 連動のみ)

ルート証明書は、Cisco Unified CM 4.1 以降との SCCP 連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。ルート証明書を表示すると、認証と暗号化に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

Cisco Unity Connection ルート証明書を表示する (Cisco Unified Communications Manager SCCP 連動のみ)

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[ルート証明書 (Root Certificate)] をクリックします。
- ステップ 2** [ルート証明書の表示 (View Root Certificate)] ページに、ルート証明書に含まれている情報が表示されます。
-

Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存 (Cisco Unified Communications Manager SCCP 連動のみ)

ルート証明書は、Cisco Unified CM 4.1 以降との SCCP 連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。

Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[ルート証明書 (Root Certificate)] をクリックします。

- ステップ 2** [ルート証明書の表示 (View Root Certificate)] ページで、[証明書の保存 (Save the Certificate)] リンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] をクリックします。
- ステップ 3** [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、Connection ルート証明書をファイルとして保存する場所を参照します。
- ステップ 4** [ファイル名] フィールドで、拡張子が .htm ではなく .0 になっていることを確認し、[保存] をクリックします。

**注意**

証明書をファイルとして保存する場合は、拡張子を .htm ではなく .0 にする必要があります。これ以外の拡張子にした場合、Cisco Unified CM は証明書を認識しません。

- ステップ 5** [ダウンロードの完了] ダイアログボックスで、[閉じる] をクリックします。
- ステップ 6** これで、Connection ルート証明書ファイルをこの Cisco Unified CM 電話システム連動のすべての Cisco Unified CM サーバにコピーできる状態になりました。手順については、適切な Cisco Unified CM インテグレーションガイドを参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

SIP 証明書の追加 (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

SIP 証明書は、Cisco Unified CM 7.0 以降との SIP トランク連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。

SIP 証明書を追加する (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[SIP 証明書 (SIP Certificate)] をクリックします。
- ステップ 2** [SIP 証明書の検索 (Search SIP Certificates)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [新規 SIP 証明書 (New SIP Certificate)] ページの [表示名 (Display Name)] フィールドに、SIP 証明書の表示名を入力します。
- ステップ 4** [件名 (Subject Name)] フィールドに、Cisco Unified CM の管理機能で使用される SIP トランクの SIP 証明書の件名と一致する件名を入力します。

**注意**

この件名は、Cisco Unified CM で使用される SIP 証明書の件名と一致する必要があります。一致しない場合、Cisco Unified CM の認証と暗号化は失敗します。

- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。

SIP 証明書の削除 (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

Cisco Unified CM サーバが Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証用に設定されていない場合は、SIP 証明書を削除できます。

SIP 証明書を削除する (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[SIP 証明書 (SIP Certificate)] をクリックします。
 - ステップ 2** [SIP 証明書の検索 (Search SIP Certificates)] ページで、削除する SIP 証明書の表示名の隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
 - ステップ 4** SIP 証明書を削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

SIP 証明書の変更 (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

SIP 証明書は、作成した後に変更することができます。

SIP 証明書を変更する (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[SIP 証明書 (SIP Certificate)] をクリックします。
 - ステップ 2** [SIP 証明書の検索 (Search SIP Certificates)] ページで、変更する SIP 証明書の名前をクリックします。
 - ステップ 3** [SIP 証明書の編集 (Edit SIP Certificate)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

SIP セキュリティ プロファイルの追加 (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

SIP セキュリティ プロファイルは、Cisco Unified CM 7.0 以降との SIP トランク連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要なになります。

SIP セキュリティ プロファイルを追加する (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[SIP セキュリティプロファイル (SIP Security Profile)] をクリックします。
 - ステップ 2** [SIP セキュリティプロファイルの検索 (Search SIP Security Profiles)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

- ステップ 3** [新規 SIP セキュリティプロファイル (New SIP Security Profile)] ページの [ポート (Port)] フィールドに、Cisco Unified CM サーバがボイス メッセージ ポートの SIP トランク認証と暗号化に使用するポート番号を入力します。
- ステップ 4** コールシグナリング メッセージを暗号化するには、[TLS を実行 (Do TLS)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

SIP セキュリティ プロファイルの削除 (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

Cisco Unified CM サーバが Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証用に設定されていない場合は、SIP セキュリティ プロファイルを削除できます。

SIP セキュリティ プロファイルを削除する (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[SIP セキュリティプロファイル (SIP Security Profile)] をクリックします。
- ステップ 2** [SIP セキュリティプロファイルの検索 (Search SIP Security Profiles)] ページで、削除する SIP セキュリティ プロファイルの表示名の隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** SIP セキュリティ プロファイルを削除するかどうかの確認を求められた場合、[OK] をクリックします。
-

SIP セキュリティ プロファイルの変更 (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

SIP セキュリティ プロファイルは、作成した後に変更することができます。

SIP セキュリティ プロファイルを変更する (Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動のみ)

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [セキュリティ (Security)] を展開し、[SIP セキュリティプロファイル (SIP Security Profile)] をクリックします。
- ステップ 2** [SIP 証明書の検索 (Search SIP Certificates)] ページで、変更する SIP セキュリティ プロファイルの名前をクリックします。
- ステップ 3** [SIP セキュリティプロファイルの編集 (Edit SIP Security Profile)] ページで、必要な設定を入力して [保存 (Save)] をクリックします。
-

